

——編集室より

*まことに遅々とした歩みですが、ようやく第2号発刊にこぎつけました。今回は、新しい執筆陣も加わり、話題も広がるとともに、集中するようになってきたように思うのですが、いかがでしょうか。

*特集「積極的治療の不選択と中止をめぐる」は、本プロジェクトの活動の窓口である臨床倫理研究会のメーリングリスト上の検討、および研究集会における報告と共同討議をもとにして、まとめました。

*本号は、第1号に続いて1999～2001年度に互る文部科学省科学研究費補助金による研究成果のまとめでもあります（基盤(B)(2)展開研究／課題番号:11551001／研究代表者:清水哲郎／医療現場における価値選択と共同行為に関するガイドラインと評価システムの開発）。また1999年度にサントリー財団から補助金を受けて行った研究の成果も含まれていますことをここに謝意を込めて記しておきます。

*第3号は2002年度中発行を目指してがんばりたいです。読者諸氏のご協力および投稿に期待しています。どうぞよろしく願います。

*投稿ご希望の方は、下記までお申し出ください。

臨床倫理学 2

2002年8月31日発行

編集・発行—— 臨床倫理検討システム開発プロジェクト
代表：清水 哲郎

事務局：980-8576 仙台市青葉区川内
東北大学大学院文学研究科哲学研究室内

TeL/FaX: 022-217-6031

Email: shimizu@sal.tohoku.ac.jp

URL: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/phil/CESDP/index-j.html>

印刷・製本—— 東北大学生協プリントコープ 980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1
